


山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：恵那山(2191m)		長野県阿智村・岐阜県中津川市
入山日：令和3年11月6日(土) 前夜発日帰り		
プラン担当者 正：鈴木 副：		2, 191m最高点は別の場所
参加者	L：報：記：鈴木 (ソロ)	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候：晴れのち曇り 微風		
11月5日(金)	23：00 竹橋発毎日アルペン号夜行バスに乗車、登山口へ	
11月6日(土)	4：50 広河原駐車場着 5：05 出発ー5：25 広河原登山口ー7：00 稜線ー8：10 恵那山ー9：00 稜線ー10：15 広河原登山口ー10：35 広河原駐車場アルペン号バスにて新宿へ (行動：5h30m)	
荒天候時のエスケープルート：その場で引き返す。		
装備と食糧	共同装備：無し 共同食：無し 車提供者：無し	
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、水、帽子、冬グローブ、スパッツ、ツェルト、目出帽、チェンスパイク コロナ対策品(マスク、消毒液) 個人食：昼食、行動食	
感想	バス降車後真っ暗闇の中、立ったまま朝食を摂るが、バス同乗の登山者はヘッドライト装着し次々と歩き始めていった。20分ほどの林道歩きのと沢を渡り、登りがスタートしたもののいきなりの急登で息が弾む。1時間ほどで明るくなり始め、同時に傾斜も緩やかになる。たまに樹林帯が途切れ眺望があらわれたが山頂を含めほとんど視界はなく、淡々と歩くトレーニングのような往路となった。 櫓の展望台と山頂の道標のある場所にはあっけなく着いたが、実際の最高点はさらに奥にある避難小屋の先にあり、多くの登山者は未到達のようであった。 下山後アルペン号に組み込まれた温泉と昼食でまったりした心身は、中央道の渋滞中も吸い込まれるように夢の中へ、新宿ですっきり目覚めJRに乗り換え帰宅した。	